



KARATSU SHINKIN BANK

Mini Disclosure

2023年9月期



親しみ・信頼・確かな未来

唐津信用金庫

はじめに



日ごろより唐津信用金庫に対しまして格別のご愛顧、お引き立てを賜り誠にありがとうございます。

本年もここにミニディスクロージャー誌「KARATSU SHINKIN BANK Report2023年9月期」をご報告させていただきます。当金庫の業務内容や財務内容などについて、より一層ご理解いただくためのご参考になれば幸いです。

これからも地域の皆様から期待され必要とされる金融機関であり続けるために、健全経営の堅持に努め、役職員の総力を結集して顧客満足度を高める活動を進めてまいりますので、何卒変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年11月

理事長 落合正利

経営理念

～親しみ・信頼・確かな未来～

～4つのビジョン～

・信用金庫の特性を発揮します

・経営体質の強化に努めます

・経営の健全性を確保します

・魅力ある職場を目指します

当金庫の概要

創業	1929年12月24日
本店所在地	佐賀県唐津市大名小路310番地の35
出資金	230百万円
会員数	8,652人
預金積金残高	96,089百万円
貸出金残高	54,071百万円
常勤役員数	99人
店舗数	8店舗

(2023年9月末現在)



唐津信用金庫SDGs宣言

唐津信用金庫では ～親しみ・信頼・確かな未来～ を経営理念として掲げています。その実現に向けて2015年国連サミットで採択された「SDGs（持続可能な開発目標）」達成への取り組みを通じ、地元の中小企業者や住民の多様化・複雑化する社会課題の解決と持続可能な社会の実現に努め、地域金融機関として当金庫のビジネスモデルを踏まえたくうえで取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



令和5年度の事業概況

当金庫の地域経済活性化への取組みについて

当金庫は、唐津・東松浦地域を事業区域として、地元の中小企業者や住民が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

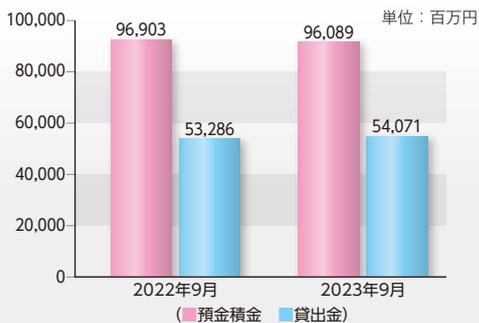
地元のお客様からお預かりした大切な資金（預金積金）は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。



預金積金、貸出金について

預金面におきましては、地公体等公金の獲得を抑えた推進を行いまして前年同月末比814百万円減少し96,089百万円となりました。

一方、融資面におきましては、住宅資金、事業資金需要等に積極的に対応した結果、前期末比785百万円増加し54,071百万円となりました。



■預貸金の推移

単位: 百万円

	2022年9月	2023年9月
預金積金	96,903	96,089
貸出金	53,286	54,071

■業種別貸出金の状況

単位: 百万円

業種	2022年9月			2023年9月		
	貸出先数	貸出金残高	構成比	貸出先数	貸出金残高	構成比
製造業	55	1,764	3.3%	58	2,143	3.9%
農業・林業	21	373	0.6%	20	317	0.5%
漁業	4	54	0.1%	6	88	0.1%
鉱業	2	28	0.0%	2	23	0.0%
建設業	160	2,716	5.0%	162	2,505	4.6%
電気、ガス熱供給、水道業	8	332	0.6%	7	313	0.5%
情報、通信業	2	95	0.1%	2	78	0.1%
運輸業	22	447	0.8%	23	346	0.6%
卸売業、小売業	217	3,977	7.4%	208	4,038	7.4%
金融、保険業	10	798	1.4%	9	867	1.6%
不動産業	117	6,023	11.3%	112	6,199	11.4%
物品賃貸業	1	0	0.0%	1	0	0.0%
学術研究、専門・技術サービス業	13	110	0.2%	14	109	0.2%
宿泊業	18	616	1.1%	18	616	1.1%
飲食業	149	1,329	2.4%	151	1,331	2.4%
生活関連サービス業、娯楽業	59	1,618	3.0%	63	1,525	2.8%
教育、学習支援業	3	97	0.1%	5	106	0.1%
医療、福祉	31	917	1.7%	34	929	1.7%
その他サービス業	92	1,165	2.1%	98	1,434	2.6%
小計	984	22,469	42.1%	993	22,977	42.4%
地方公共団体	2	6,193	11.6%	2	5,924	10.9%
個人（住宅、消費、納税資金等）	6,378	24,623	46.2%	6,143	25,169	46.5%
合計	7,364	53,286	100.0%	7,138	54,071	100.0%

業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

収益について

収益状況におきましては、貸出金利息は横這いで推移、有価証券利息は15百万円減収となるものの預け金利息が18百万円増加によって資金運用収益は3百万円増加しました。また臨時収益について株式売却40百万円引当金戻入13百万円が増加したことから、経常収益は前年同月比57百万円増の793百万円となりました。経常費用は人件費は11百万円、物件費1百万円が減少しました。今期は個別貸倒引当金繰入を含む臨時費用が発生しなかったことから、前年同月比40百万円減少の597百万円となりました。

その結果、経常利益は前年同月比97百万円増加の195百万円となり、当期純利益は146百万円となりました。

また、金融機関の本来的な収益力を示すコア業務純益は、150百万円となりました。

■損益の状況

単位: 百万円

	2022年9月	2023年9月
経常収益	736	793
業務純益	133	150
実質業務純益	121	150
コア業務純益	121	150
コア業務純益（除く投資信託解約損益）	72	108
経常利益	98	195
当期純利益	61	146



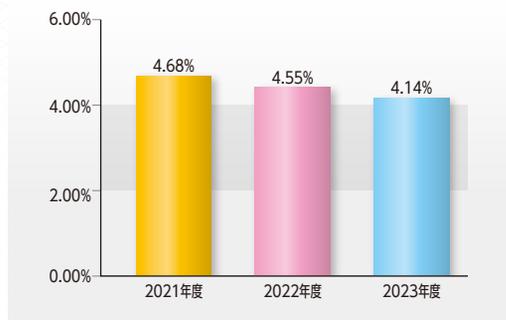
信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

2023年9月末現在で資産査定を実施した結果、貸出金や債務保証見返等を含めた金融再生法に基づく不良債権額は2,251百万円となりました。なお、貸出金等の総与信に対する不良債権額の割合は前期末対比0.41ポイント減少して4.14%となりました。

単位：百万円、%

区 分		開示残高 (a)	保全額 (b)	担保・保証等による 回収見込額 (c)	貸倒引当金 (d)	保全率 (b) / (a)	引当率 (d) / (a-c)
破産更生債権及び これらに準ずる債権	2022年度	437	437	169	268	100.00	100.00
	2023年9月	400	400	139	261	100.00	100.00
危険債権	2022年度	1,732	1,668	1,426	242	96.30	79.08
	2023年9月	1,699	1,635	1,399	236	96.23	78.67
要管理債権	2022年度	159	24	24	0	15.09	0.00
	2023年9月	152	23	23	0	15.13	0.00
三月以上 延滞債権	2022年度	0	0	0	0	0.00	0.00
	2023年9月	0	0	0	0	0.00	0.00
貸出条件 緩和債権	2022年度	159	24	24	0	15.09	0.00
	2023年9月	152	23	23	0	15.13	0.00
小計 (A)	2022年度	2,328	2,129	1,619	510	91.45	71.93
	2023年9月	2,251	2,058	1,561	497	91.43	72.03
正常債権 (B)	2022年度	51,630					
	2023年9月	52,075					
総与信残高 (A) + (B)	2022年度	53,958					
	2023年9月	54,326					

金融再生法に基づく開示債権比率の推移



- (注) 1.「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
- 2.「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態に至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」に該当しない債権です。
- 3.「要管理債権」とは、信用金庫法上の「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額です。
- 4.「三月以上延滞債権」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」に該当しない貸出金です。
- 5.「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建等を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「三月以上延滞債権」に該当しない貸出金です。
- 6.「正常債権 (B)」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「要管理債権」以外の債権です。
- 7.「担保・保証等による回収見込額」(c)は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
- 8.「貸倒引当金」(d)には、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しております。
- 9.「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「正常債権」が対象となる債権は、貸借対照表の「有価証券」中の社債(その元本の償還及び利息の支払の全部又は一部について保証しているものであって、当該社債の発行が有価証券の私募(金融商品取引法第2条第3項)によるものに限る。)、貸出金、外国為替、「その他資産」中の未収利息及び仮払金並びに債務保証見返の各勘定に計上されるもの並びに注記されている有価証券の貸付けを行っている場合のその有価証券(使用貸借又は賃貸借契約によるものに限る。)です。

中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組みの状況

唐津くんち歴代ポスター展開催

2023年10月2日(月)より、当金庫本店営業部ロビーにおいて「唐津くんち歴代ポスター展」を開催いたしました。

同ポスター展は、地域祭礼行事の活性化に寄与できればと開催したものです。来店されたお客様に大変好評をいただきました。



スポーツ振興への支援

2023年10月7日(土)に「第4回唐津信用金庫旗争奪少年軟式野球大会」(参加:16チーム)、10月21日(土)に「第3回唐津信用金庫旗争奪ボーイズリーグ大会」(参加:連盟加入3チーム)をそれぞれ開催いたしました。

当金庫は地域の発展を担う子供たちへの支援をこれからも続けてまいります。



自己資本比率について

金融機関の健全性を示す自己資本比率は8.64%となり、引き続き国内基準の4.00%を上回る高い健全性を維持しています。当金庫では、資本の有効活用の観点から、適切なリスク管理のもと、地域のお客様に対する金融仲介機能の発揮に努めるとともに、経営の健全性維持と収益力の向上の両立を目指しています。

2023年9月期は、自己資本額3,422百万円と186百万円増加し、分母となるリスクアセットは減少しており自己資本比率は8.64%と0.67ポイント増加しました。

なお、9月期の仮決算は、9月末の残高を基準に時価補正を行うなど、決算手続きに準じて計算を行っておりますが、簡便な取扱となっており、法定決算手続きによるものではありませんので、税効果等により変動することがあります。

あくまで9月末の目安として捉えておりますのでご了承願います。

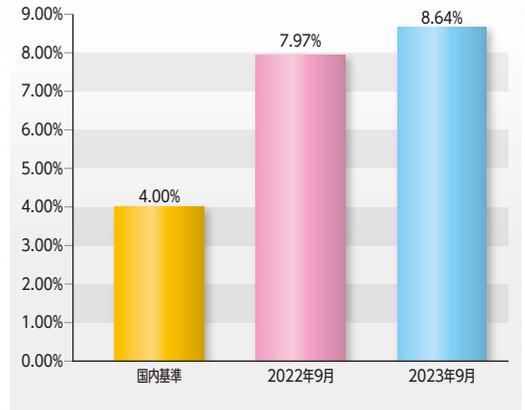
■自己資本比率

単位：百万円

	国内基準	2022年9月	2023年9月
コア資本に係る基礎項目（イ）		3,250	3,437
コア資本に係る調整項目（ロ）		14	15
自己資本額（イ）－（ロ）（ハ）		3,236	3,422
リスクアセット等合計額（ニ）		40,588	39,607
自己資本比率（ハ）／（ニ）	4.00%	7.97%	8.64%
総所要自己資本額		1,623	1,584

（注）自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成18年金融庁告示第21号）」に基づき算出しております。

なお、当金庫は国内基準により自己資本比率を算出しております。



有価証券の状況について

有価証券運用におきましては、現在の超低金利の状況に対応し、比較的安全な債券運用に加え運用の多様化を図り、投資信託等による運用ヘッジし効率化を図っております。当年度の運用方針を定め、計画的に残高を積み増し収益の確保を図ってまいりました。また預け金につきましても定期預金を中心に運用等利回りの向上に努めました。今後とも安全で安定的な運用を基本として運用利回りの向上に努めてまいります。

■満期保有目的の債券

単位：百万円

	種 類	2022年9月			2023年9月		
		貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を 超えないもの	外国証券	200	186	▲ 13	200	179	▲ 21
合 計		200	186	▲ 13	200	179	▲ 21

（注）1.時価は、期末日における市場価格等に基づいております。 2.市場価格のない株式等及び組合出資金は本表には含めておりません。

■その他有価証券

単位：百万円

	種 類	2022年9月期			2023年9月期		
		貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの	株 式	151	91	59	264	138	126
	債 券	8,304	8,167	136	4,470	4,403	67
	国 債	2,015	1,999	15	703	700	3
	地 方 債	3,083	3,049	34	1,510	1,499	11
	社 債	3,204	3,118	86	2,256	2,203	53
	外国証券	580	515	65	310	305	5
	そ の 他	3,021	2,704	316	2,481	2,228	253
	小 計	12,057	11,480	577	7,527	7,075	452
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの	株 式	52	60	▲ 8	12	14	▲ 2
	債 券	4,665	4,708	▲ 43	6,749	6,966	▲ 217
	国 債	1,468	1,491	▲ 23	2,353	2,479	▲ 126
	地 方 債	1,389	1,399	▲ 10	2,192	2,259	▲ 67
	社 債	1,808	1,816	▲ 8	2,203	2,227	▲ 24
	外国証券	1,663	1,763	▲ 99	1,940	2,071	▲ 131
	そ の 他	8,001	9,144	▲ 1,143	7,091	8,493	▲ 1,402
	小 計	14,382	15,676	▲ 1,294	15,794	17,545	▲ 1,751
合 計	26,439	27,156	▲ 716	23,322	24,621	▲ 1,299	

（注）1.時価は、期末日における市場価格等に基づいております。 2.市場価格のない株式等及び組合出資金は本表には含めておりません。

店舗網

①本店営業部



唐津市大名小路310番地の35
☎ (0955) 73-3105

②朝日町支店



唐津市朝日町1095
☎ (0955) 72-8271

③西唐津支店



唐津市西唐津2丁目6223-23
☎ (0955) 72-8341

④浜崎支店



唐津市浜玉町浜崎1269
☎ (0955) 56-6814

⑤相知支店



唐津市相知町相知1948
☎ (0955) 62-2555

⑥和多田支店



唐津市和多田南先石8-2
☎ (0955) 74-7101

⑦町田支店



唐津市町田1丁目8-3
☎ (0955) 74-4421

⑧山本支店



唐津市山本1502-3
☎ (0955) 78-1146



店外キャッシュコーナー

- まいづるショッピングプラザ 唐津市大名小路24-1
- まいづる999 唐津市町田2129-1
- イオン唐津店 唐津市鏡4671